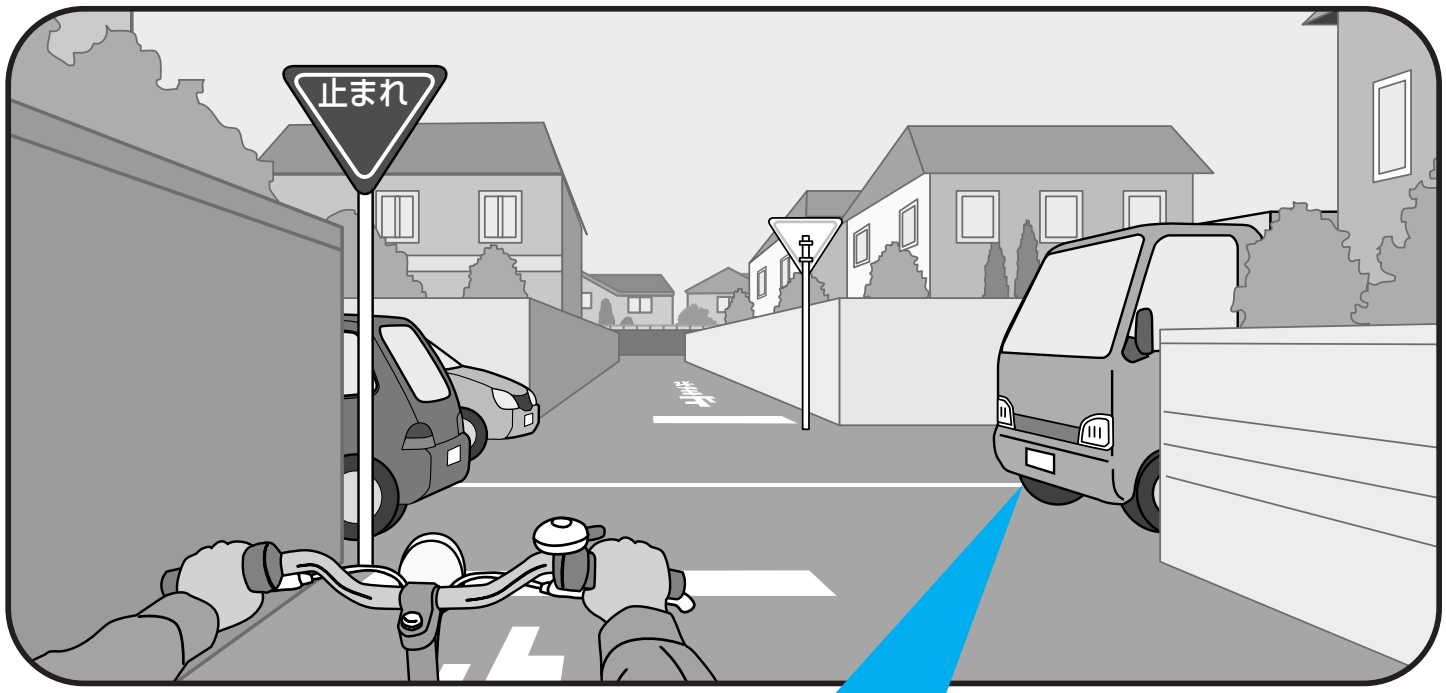
危険予測トレーニング（KYT）――危険感受性を育てる　第18回　信号機のない交差点を通過する時（自転車）

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は自転車利用者に、信号機のない交差点を通過する時の安全確認について考えてもらうためのKYTです。



あなたは路地を抜けて、先にある広い通りを横断しようとしています。手前の車線は渋滞しているので、右手のトラックは停止しています。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

©本田技研工業（株）

活用方法

❶少人数のグループをつくります。
❷「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
❸その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト（カラー・A4版）」は下記SJ-Netでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード（無料）できます。

ホンダ　SJ　検索

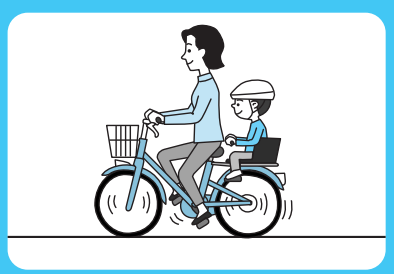
【使用上の注意】
●営利目的での利用はおやめください。
●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業（株）安全運転普及本部
TEL：03（5412）1736
E-mail:sj-mail@spirit.honda.co.jp

SJクイズ ?

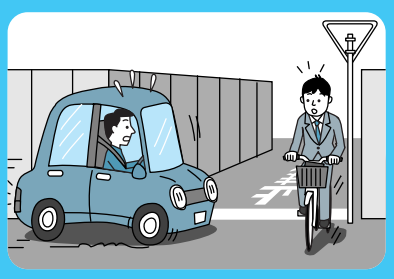
Q1　平成21年中の6歳未満幼児の自転車同乗中死傷者は頭部損傷が最も多くなっていますが、その割合は何%?

①約28％
②約33％
③約43％
④約48％



Q2　平成21年中の自転車乗用中の死傷者数を法令違反別にみると、自転車側に違反のある者の割合は何%？

①約36％
②約46％
③約56％
④約66％



Q3　道路交通法では、電動アシスト自転車など駆動補助機付自転車において、人の力を補助するために原動機の力が加わるのは何km/h未満で走行する場合と規定されているでしょう？

①24km/h　②30km/h　③36km/h　④42km/h

※「解答」は7面下。「解説」は下記SJ-Netでご覧いただけます。

ホンダ　SJ　検索

©本田技研工業（株）

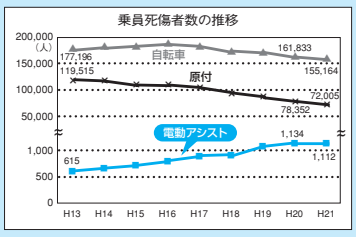
交通安全指導 知っ得情報

このコーナーでは、交通安全指導に関わっている方々に役立つ情報を提供しています。

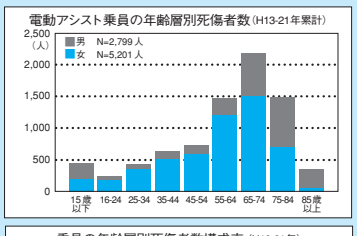
近年、増加傾向にある電動アシスト自転車事故の特徴

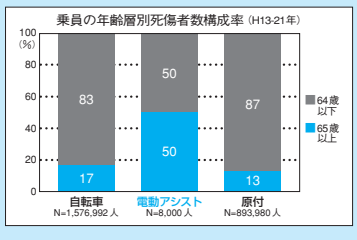
電動アシスト自転車（駆動補助機付自転車）の出荷台数は年々増加を続け、平成20年には原付の出荷台数を上回った。これに伴い、電動アシスト自転車の乗員の死傷事故も増加傾向にある。

原付、自転車、電動アシスト自転車の乗員の死傷者数をみると、8年前（平成13年）と比べ、平成21年は原付が4割、自転車が1割減少しているのに対し、電動アシスト自転車は8割も増加している。

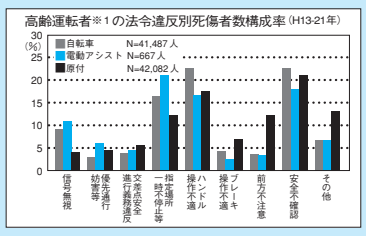


電動アシスト自転車の乗員の死傷者数（以下、平成13年から平成21年までの8年間の合計）を年齢層別にみると、高齢者（65歳以上）と女性の構成率が高くなっている。また、原付や自転車に比べて高齢者の割合は特に多い。

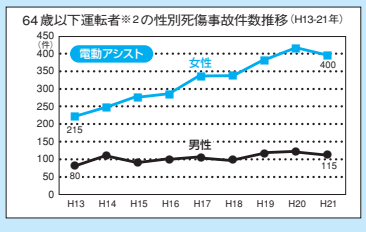




自転車および電動アシスト自転車乗用中に死傷した高齢者は9割が運転免許を保有していない。高齢者の死傷者数を事故類型別にみると、電動アシスト自転車は出会い頭が半数以上で、原付や自転車に比べて構成率は高くなっている。また、法令違反別では、指定場所一時不停止等が多く、これも原付や自転車に比べて構成率は高い。



電動アシスト自転車の死傷事故を男女別（64歳以下）にみると、平成13年から平成21年にかけて、女性はほぼ倍増。2～3人乗りで死傷事故にあっているケースが30歳代の女性に多く、同乗している幼児が頭部や顔部を損傷している。



（財）交通事故総合分析センターでは、電動アシスト自転車の事故防止と被害軽減のために必要なこととして、以下のようなことを挙げている。

- ●交通ルール遵守のため、運転免許を持たない高齢者への交通安全啓発
- ●交差点では信号を遵守。信号のない交差点では、一時停止や徐行での安全確認
- ●ヘルメットの着用（特に高齢者や同乗幼児）
- ●歩道通行の場合は、歩行者などに注意して徐行
- ●自転車が安全に通行できる自転車道などの整備

※文中のデータは（財）交通事故総合分析センター「第13回 交通事故調査・分析研究発表会」資料より抜粋

※1 第1当事者　※2 第1当事者・第2当事者：第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きいほうの当事者。